

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 令和元年11月7日

〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目10番31号 電話093(541)2409番

報恩講とは — 深川宣暢 —

報恩講とは、毎年の親鸞聖人の祥月命日にいたる七日間の仏事のことで、浄土真宗の年中行事としては最も大切におつとめする法要です。言わば聖人の毎年の祥月のご法事です。聖人のご命日は弘長二年十一月二十八日ですが、太陽暦にしますと一六六三年一月十六日になります。本願寺派では明治六年に太陽暦を採用することにしましたから、翌一八七四年からは一月に報恩講をおつとめすることになりました。

真宗では、本願寺派や高田派が、新暦に移行して一月九日から十六日までお勤めしますが、大谷派や興正派などは、旧暦の日付をそのまま新暦に当て、十一月二十一日から二十八日に行っています。また全国各地や海外の真宗寺院でも、毎年秋や冬の頃を中心におつとめされてきて、真宗の歴史はこの報恩講の歴史であるといっても過言ではありません。

「報恩講」という名称は、本願寺第三代の覚如上人が、永仁二年に親鸞聖人の三十三回忌法要をおつとめされるにあたって、「報恩講私記(式)」を著され、聖人のご影前で朗読してその高德を讃嘆されたので、それ以来、親鸞聖人の祥月命日(御正忌)の法要を「報恩講」と呼ぶようになりました。聖人の恩徳に報謝する(報恩)寄り合い(講)ということです。

—中略—

「報恩」と聞きますと、私たちはすぐに「恩返し」と考えがちですが、これは実は、真実の信心の人に恵まれる利益なのです。真宗における現生の利益として、親鸞聖人は十種の利益をお示しくださいましたが、その中に「知恩報徳の益」とあるのです。すなわちご恩を受けたらその恩返しをせよといわれて行う行為なのではなく、ご恩を知りそれに報いるという念仏生活を送ることができる身を恵まれるということです。

—中略—

そもそも私が救ってやるから恩返しせよと如来さまが言われるわけではないし、私が教えたのだから恩返しをせよというお師匠さまであるはずありません。また私たちにとりだけのご恩返しができるのかと考えますと、実に難しいものです。親鸞聖人は「恩徳讃」に「如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし」とし、また「師主知識の恩徳も ほねをくだきても謝すべし」と詠われました。「身を粉にする」ほど、また「ほねをくだく」ほどのご報謝をすべきものであると言われるのですから、まさに命がけのご報謝でなければなりません。これは、命をかけてご報謝をしなければならぬほどのご恩を受けているのが私たちなんだよと示されているということでしょう。

それなら報恩とは何でしょう。総じていえばお称名・お念仏です。

—中略—

私たちの報恩の行いは、お救いの条件ではありませんから、こうしなければならないということではありません。できることから行うのです。まずその第一がお称名念仏です。

ご報謝ですから、報恩講にお参りして、心ゆくまでお称名をしてみませんか。

令和元年度 日帰りバスツアー

大分 日田 に行ってきました!!

みんなと一緒にの観光、食事は楽しくてありがたい一日でした。豆田の真宗寺院参拝させていただきました。



大谷派 長福寺様 本堂にて



日田杉資料館内にて



日田サッポロビール工場前



豆田町 酒蔵前にて



お昼は「旅籠 かやうさぎ」にて
庄屋の家を改装した趣ある建物でした



正善寺納骨所 永代使用納骨壇のお知らせ

個人用 (特別懇志 20 万円) の納骨壇申込受付中—永代預かり懇志 (別途 1 体 30 万円) 一階納骨壇は「鳳凰」70 万円が申込み可能 (令和 1.11.1 現在) 永代預かりもします。

令和元年度分

報恩講の際ご進納ください。

- * 『お仏飯米』
白米 2 合程度
 - * 『門信徒護寺会費』
年間 1 口 金 3,000 円以上
 - * 『納骨所維持管理費』
管理費年間 金 3,000 円
- 各々封筒をお使いください。

「位牌会」(いはいえ)のご案内

本年も、有縁の門信徒の方々よりお預かりしました「御位牌」や、古くなった仏具等の最後のお別れをし、焼却処分いたします。まだ処分するものがあつたらご持参ください。ご一緒にお別れいたしましょう。

◎ 12 月 22 日 (日)

午後 3 時より 本堂にて お勤め
午後 3 時より 境内にて 焼却開式
(保育園運動場にて点火します。)

ご 案 内

報 恩 講 法 要

11 月	22 日 (金)	23 日 (土)
昼 席	午後1時30分	おとき 12時より 午後1時30分

講 師 本願寺派布教使 広島市 善法寺坊守 前田純代師

浄土真宗門徒にとって大切な法要です。お参り致しましょう

お寺からのお願いです

「お 磨 き」11月19日 (火)

9:30より15:00 まで

報恩講を迎えるにあたり本堂の金仏具を磨き、納骨堂等のお掃除をします。**沢山の方のお手伝いが ありますと本当に助かります。**男性の方もお待ちしております。昼食準備しています。よろしくお願ひいたします
正善寺仏教婦人会の例会はお磨きとあわせ開催します。お集まりください。

「お 齋 接 待」ご 案 内

正善寺の精進料理をぜひ

お召し上がり下さい。

おまちしております

11月23日 (土) 正午より

前もっての予約などはいりません

《お齋券》をお持ちください

正善寺仏教婦人会の皆さんは 9 時集合

来 年(令和二年)の 年忌法要

()内は来年の対象年次数です。

- ・ 一 周 忌 (平成31・令和元年往生)
- ・ 三 回 忌 (平成30年往生)
- ・ 七 回 忌 (平成26年往生)
- ・ 十 三 回 忌 (平成20年往生)
- ・ 十 七 回 忌 (平成16年往生)
- ・ 二 十 五 回 忌 (平成8年往生)
- ・ 三 十 三 回 忌 (昭和63年往生)
- ・ 五 十 回 忌 (昭和46年往生)

小倉組行事 参寺参り さんてらまいり

小倉組内の28寺で勤められる「報恩講法要」のうち、3ヶ所の寺院を訪ね、聴聞しようという企画です。各寺院にはお寺シールが準備しています。

まずは我がお寺から。お待ちしております。

ご懇志封筒について

法要へのご懇志につき、封筒を準備しましたのでご利用し、お供え下さい。氏名と住所を記入して受付に納め下さい。

行事ご案内【報恩講は浄土真宗門信徒の最も大切な法要】

第85回 おゆうぎかい

とき 12月7日【土】9時より
お昼まで
ところ 神岳保育園ホール

お寺の忘年会

とき 12月15日【日】18時より
ところ 観山荘本館 会費6,000円
ぜひぜひご参加ください。

除夜会 12月31日(火) 大晦日

除夜の鐘 午後11時より 今年最後のお勤め

午後11時30分から 午前1時まで どなたでもご自由に

令和二年 元旦会 元旦 午前1時より (除夜会終了後)

令和二年 小倉組親鸞のつどい

とき 令和2年3月5日(木) 13時より予定 ところ リバーウオーク中劇場
講師 歌う尼さんシンガーソングライター **やなせななさん**
チケットはお寺にて配布致します。参加お待ちしております。ぜひご参加ください。

次回の法要のご案内

春季彼岸法要

【とき】 令和2年3月19日(木) 昼席・20日(金) 昼席

【講師】 (熊本県) 本願寺派布教使 **吉村隆真師**

◎ 法要準備は、3月16日(月)の予定です。

編集後記

空の色、空気、風に秋の深まりを感じます。ご門徒の皆様お元気で過ごしてはいかがでしょうか。ごぶさたばかりで申し訳ございません。お寺では十一月に入り 一年間のうちで一番大切な報恩講法要をお迎える月となり小さな小さな準備からはじめております。準備をしながら色々なことを思います。九月、大切なご門徒のおばあちゃんが103才のお誕生日を前にお浄土に往かれました。いつも私の心を助けてくださいました。ある年の六月の法要の日、雨が降っていました。玄關口でご門徒の方々をお迎える私は雨をととても悔んでいました。そんな私の心を察したのか「坊守さん今日は恵みの雨。雨もよかとよ」と言って下さいました。坊守としての年月を重ねるほど多くの出遇いと別れを経験します。この世での別れは本当につらい。「坊守さんよかねー」の声も、やわらかくてあたたかいその手をにぎることももうできないけれど、kさんは亡くなってお浄土に往き仏さまとなって今私の中に還って来てくださっています。私のとなりではなくて私の中で「坊守さんよかねー」と言ってくださっています。その言葉に答える私の言葉は「kさんありがとう南無阿弥陀仏」です。私の中よりkさんの「南無阿弥陀仏」私は私の中に向かって「南無阿弥陀仏」心のハイタッチは「南無阿弥陀仏」でつながっているという事を今私の身、心を通して感じています。出遇いと別れそのたびに「南無阿弥陀仏」のはながさいていくということに感謝します。報恩講は浄土真宗のご門徒にとって一番大切な法要。どうぞ御参詣ください。心よりお待ちしております。季節の変わり目ですので、お身体大切にご自愛くださいませ。 合掌